

# プラスチック燃料携行缶 取扱説明書

改訂版②

LD-YG-P5  
LD-YG-P10  
LD-YG-P20

## ■はじめに

このたびはプラスチック燃料携行缶をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

**安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。**

### 安全上のご注意

- ※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。
- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。

**警告** 誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。

**注意** 誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。

**禁止** 取扱においてその行為を禁止します。

**指示** 指示に基づく行為を強制します。

## ■安全にお使いいただくために

**ガソリンの取扱い** ★★★重要：ガソリンは揮発性の高い危険物です。-40℃でも気化します。★★★

本品は UN 規格認証品ですが、ガソリンの補充を禁止しているガソリンスタンドなどでは給油を断られる場合があります。セルフのガソリンスタンドでは自身での給油はできません。また、ガソリンを購入する際、消防法により、本人確認、使用目的の確認を求められます。

### 警告

**禁止**

- 燃料缶を火気のそばや高温になる場所に置かないでください。火災の原因になり非常に危険です。
- 燃料缶の規定容量以上は絶対に入れないでください。
- エンジンがかかっている機械には給油しないでください。引火する恐れがあるため、必ずエンジンを停止させ、スイッチを切ってから給油してください。
- 古いガソリンは使用しないでください。ガソリンは劣化します。ガソリンの長期保管はできません。
- 燃料缶が空でも火気は絶対に近付けないでください。引火、爆発の恐れがあります。

**指示**

- ガソリンは引火性（着火性）の高い危険物です。火の気がなく、温度変化のない、直射日光を避けた安全な場所で保管してください。また、長期間保管をしないでください。
- 燃料缶は、給油口が上向きになるように常に平らな場所に置いてください。
- 燃料、オイル漏れ防止のため給油キャップは最後まで確実に締付けてください。
- 給油キャップを外す時は、まずキャップを少しずつ緩め缶のガスを排出します。給油キャップを一気に外すと、内圧によりガソリンが噴出し、破裂によるキャップの飛び出し等大変危険です。
- 燃料缶を携帯、移動した場合には、まず給油キャップを少しずつ緩め、缶内の圧力を調整してから再びキャップを確実に閉めてください。
- 内容物の有無に関わらず、直射日光が当たる場所、火気の近くなど高温になる場所を避けた安全な場所で保管してください。変形や破裂、火災の原因となります。
- 給油の際、周りに火気がないことを十分確認してください。
- 誤った使用方法、火災、地震、水害、その他天災地変、公害、塩害などによる故障や損傷についてはいかなる責任も負いかねます。又、シンナーや薬剤等の使用は、パッキンの劣化、本体の破損の原因となりますので使用しないでください。
- 長期保管したガソリンはエンジンに悪影響を及ぼす恐れがありますので使用しないでください。

### 注意

**指示**

- ガソリンが誤って皮膚に付いた場合は、直ちに石鹸等で十分に洗浄し、異常があれば医師の診察を受けてください。

## 燃料携行缶の注意事項

### 注意

**禁止**

- 燃料缶は直射日光を避けてください。短期間に劣化して強度が落ちます。また、温度変化の大きい場所に保管しないでください。内圧の変化が繰り返されると、亀裂が生じ、ガソリンが漏れる可能性があります。
- 燃料缶本体に劣化、破損がみられる場合は使用しないでください。
- 少量のガソリンを燃料缶内に残さないでください。気化し内圧の変化で変形や亀裂が入る恐れがあります。
- 自動車用の燃料とする目的で、本製品に燃料を給油し自動車で運搬することはできません。

**指示**

- 給油ノズル、パッキンは消耗品です。ご使用前に劣化していないか確認し、劣化が見られる場合は交換してください。
- 燃料缶を長期間使用しなかった場合には、缶本体、各々の部品に劣化や破損が無いことを確認した後、使用してください。
- 空の燃料缶を保管する場合は、雨や雪のあたる場所や湿気の多い場所を避けてください。
- 空の状態でも保管する場合はパッキンの劣化を防ぐため、少し給油キャップを緩めてください。

## 燃料携行缶から給油する時及び使用後の注意事項

### 警告

**禁止**

- エンジンをかけている状態では絶対に給油しないでください。
- エンジンが熱いうちは給油しないでください。
- 静電気が起きやすい服を着用しないでください。

**指示**

- エンジンが冷えてから給油してください。
- 静電気にご注意ください。
- 傾きのない平らな地面に置き、必ず内部の圧力を抜いてから給油してください。給油キャップを外す際にガソリンが噴出する恐れがあります。
- ゆっくりと給油キャップを外し、給油ノズルをしっかりと取付けてください。

### 注意

**禁止**

- 規定容量以上の燃料を入れないでください。

**指示**

- こぼしたり、人体に付着しないよう注意深く給油してください。
- 万が一のため、手袋等を着用することをおすすめします。
- 給油後はウエス等できれいに拭き取ってください。燃料缶内に燃料が残る場合は、キャップをしっかりと確実に閉め、早めに使い切ってください。
- 燃料缶に燃料などを入れて移動する場合には、給油キャップが確実に閉まっていることを確認してから移動してください。万が一漏れのある場合は使用を中止してください。

## ■主要諸元


モデル名	LD-YG-P5	LD-YG-P10	LD-YG-P20
燃料缶容量	5L	10L	20L
適応用途	ガソリン、軽油、灯油、混合油		軽油、灯油、混合油
材質	HDPE（高密度ポリエチレン）		
給油方式	ノズルブッシュ式		
サイズ	L231×W154.5 ×H237mm	L294×W199 ×H288mm	L293×W213 ×H448mm
重量	0.4kg	0.6kg	1.1kg
UN 規格 認証品	3H1/Y/250/20/CN/LD CCSCQ001-20	3H1/Y/250/20/CN/LD CCSCQ002-20	3H1/Y/250/20/CN/LD CCSCQ003-20

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。

年中無休受付  
※年末年始等除く

カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口  
<https://haige.jp/c/>



**HAIGE** 〒370-0603群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1  
ハイガーオフィシャル 検索 <https://haige.jp/>

本製品への給油の仕方

警告

- ・ガソリンは、火災の発生危険が極めて高く、火災が発生すると爆発的に延焼拡大するため、ガソリンの取扱いは細心の注意を払ってください。(表面の注意事項を必ずお読みください。)
- ・静電気が起きやすい服を着用しないでください。

- 1 本製品を平らな地面に置きます。
- 2 キャップロックレバーを押さえ解除しながら、給油キャップを反時計回りに回します。



- 3 給油キャップを取外します。



- 4 ノズルを引き出します。



- 5 本製品に燃料を給油します。



注意

- ・本製品にガソリンを給油する際は、最大ラインを超えないでください。



給油の仕方

- 1 機械側の燃料キャップを開けます。

- 2 ノズルキャップを取外します。  
※紛失しないようご注意ください。



- 3 パッキンにねじれや亀裂がないか、ホコリや砂などが付着していないか確認します。



- 4 給油ノズルに給油キャップを通します。



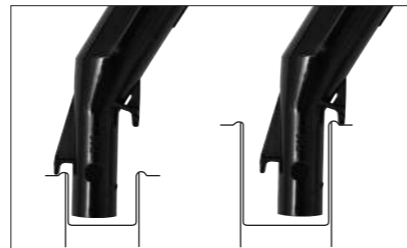
- 5 本製品の給油口に給油キャップをはめ、ノズルの向きを合わせ、ノズルを固定しながら給油キャップを時計回りに締付けます。



- 6 本製品のハンドルをしっかり握り、本体底の窪み部分に指をかけて補助しながら本製品をゆっくり傾けます。



- 7 本製品の給油ノズルを機械側の燃料タンクに挿込み、ノズルのフックを燃料タンクの縁に引っ掛けます。  
※フックは 2 ヶ所あります。燃料タンクの形状、深さに合わせて使い分けてください。



燃料タンクの給油口が浅い場合や給油口が狭い場合  
燃料タンクの給油口が深い場合や給油口が広い場合

- 8 本製品を押下げることで燃料が出てきますので、目視で給油量を確認しながら、こぼさないように給油してください。  
※自動給油停止機能はありません。



燃料が漏れる

ノズルがしっかり取付いていない、給油キャップの緩み、パッキンのねじれや亀裂・異物の付着が考えられます。再度確認をしてください。

注意

- ・こぼしたり、人体に付着しないよう注意深く給油してください。
- ・万が一のため、手袋等を着用することをおすすめします。
- ・給油後はウエス等できれいに拭き取ってください。本製品内に燃料が残る場合は、キャップをしっかり確実に閉め、早めに使い切ってください。
- ・本製品に燃料などを入れて移動する場合には、給油キャップが確実に閉まっていることを確認してから移動してください。
- ・万が一漏れのある場合は使用を中止してください。

- 9 給油ノズルを付けたままで、しばらくたってから再度給油する場合は、給油キャップを少しずつ開け、缶内の空気を一度抜いてから給油します。

警告

・給油キャップを開ける時は、少しずつ開け、ガスを抜きながら行ってください。急激に開けるとガソリンが噴出する恐れがあります。



給油ノズルの戻し方

- 1 キャップロックレバーを押さえ解除しながら、給油キャップを反時計回りに回し取外します。



- 2 給油ノズルから給油キャップを引き抜きます。



- 3 給油ノズルを本製品内に入れノズルキャップをはめます。



- 4 給油キャップをはめ、時計回りに回し締付けます。



注意

- ・給油ノズルを取付けた状態で保管する場合は、ノズル先端にノズルキャップを取付けてください。



- ・空の本製品を保管する場合は、雨や雪のあたる場所や湿気の多い場所を避けてください。
- ・空の状態での保管する場合はパッキンの劣化を防ぐため、少し給油キャップを緩めてください。

警告

20L燃料缶にはガソリンは給油できません。

ガソリン使用不可



修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項で連絡ください。

- |        |            |
|--------|------------|
| ①ご注文番号 | ⑤購入サイト、年月日 |
| ②商品名   | ⑥お名前       |
| ③商品の型番 | ⑦ご住所       |
| ④故障の状況 | ⑧電話番号      |

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

年中無休受付  
※年末年始等除く  
カスタマーサポート・センター  
お問い合わせ窓口  
<https://haige.jp/c/>

保証内容について

保証規約は、ハイガー産業株式会社を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記しています。下記にて内容をご確認ください。

